

KYODO PR Business Report

第57期(2020年12月期)事業報告書



【経営理念】

我々は情熱と創造性で
顧客の課題解決を図り
100年のコミュニケーションをつなぐ
PRエージェンシーである。

【ビジョン】

No.1 PR

【当社の特徴】

「統合的なPRサービス」

当社ではPR戦略の立案から
実行までをワンストップで行う
専任チーム、危機管理、海外PR、
デジタルコミュニケーションなどの
高い専門性を有する専門チームを有し、
これらのチームが連携し、
統合的なPRサービス
を提供しています。

「メディアリレーションズ」

PR会社の主な業務には、
新聞・テレビ・ラジオ・雑誌・
Webなど様々なメディアに
クライアントの情報提供を行う
「メディアリレーションズ(当社商標)」が
あります。現場から幹部層までが
長年培ってきた重層的で強固な
メディアネットワーク力は、
当社最大の資産です。

「PR業界への貢献」

当社は直接企業や団体などに
PRサービスを提供するだけでなく、
PR業界の活性化につながる
情報の提供をPR総研を通じて
行っています。
また、「広報の学校」「デジマナ」を通じて、
広報・PR人材の育成に
つながる活動を行っています。

Top Message | 株主の皆様へ |



代表取締役社長
谷 鉄也

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの第57期(2020年12月期)連結業績の概況をご報告申し上げます。

当社グループは、前連結会計年度に引き続き、新規リテイナー顧客の獲得と、新規顧客及び既存顧客からのオプション＆スポット案件の獲得に注力いたしました。

単体におきましては、リテイナーの契約平均単価上昇により利益は昨年並みとなったものの、契約社数は前年に比べ微減し、オプション＆スポット案件においては、新型コロナウイルスの影響により受注件数が大幅に減少いたしました。

連結子会社につきましては、共和ピー・アール株式会社は、昨年受注した大口イベント案件がなく、売上総利益は減少したものの、販管費の削減に努めた結果、減収増益となりました。映画のPRに特化した株式会社マンハッタンピープルは、映画館の営業再開により回復基調にあるものの、第2四半期までの売上減少と、株式会社アティカスのM&Aにより販管費が増加したため、減収減益となりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は4,990百万円(前期比13.3%減)、営業利益156百万円(同68.8%減)、経常利益151百万円(同69.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益12百万円(同96.6%減)となりました。

今後につきましては、6月の本社移転に伴い2021年度を「リブランディング元年」と位置付け、新規リテイナー顧客の獲得と深耕を目指し事業拡大を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

単位:百万円 ()は前連結会計年度比

| 2020年12月期の概要 | | 2021年12月期の計画 | | 2020年12月配当 |
|---------------------|--------------------------|---------------------|-------------------------|----------------------|
| 売上高 | 4,990 (13.3%減) | 売上高 | 5,150 (3.2%増) | 1株当たり 12.00 円 |
| 営業利益 | 156 (68.8%減) | 営業利益 | 200 (27.8%増) | |
| 経常利益 | 151 (69.9%減) | 経常利益 | 200 (32.4%増) | 2021年12月配当予想 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 12 (96.6%減) | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 107 (745.8%増) | 1株当たり 12.00 円 |

山梨県 地方創生PR動画サービスの業務を受注

山梨県は県の魅力をPRするため、公式YouTubeチャンネル「山梨チャンネル」を2009年に開設しています。本業務は、山梨県の更なる魅力を伝える動画を制作し、「山梨チャンネル」で配信するとともに、様々なメディアを活用したPRを行うことで、テレビ離れといわれる県内外の若年層に向けて山梨県の魅力や情報を伝えることを目的に実施されました。また、当社出資会社である株式会社VAZの協力のもと、山梨県在住でSNS総フォロワー数が160万人を超える人気ユーチューバーMINAMI（みなみ）さんを山梨チャンネルのPRリーダーに起用し、これまでの再生回数を大きく上回る成果を上げ、チャンネル登録者数の増大へと導くことができました。今後は今回の案件をひとつのビジネスモデルとし、SNSを導入してもなかなか成果を上げられない、と悩む企業や地方自治体へ、そのサポート業務を受注すべく積極的に働きかけてまいります。

「山梨チャンネル」では昨年9月から、今年3月までに順次16本の配信を予定しています。



海外総合PR会社2社とパートナーシップ契約を締結

当社は昨年7月、ドバイに本社があり、中東アジアや北アフリカに拠点を持つ総合PR会社オリент・プラネット・グループとパートナーシップ契約を締結いたしました。この提携により、中東アジアや北アフリカでのPRサービスを共同で提供し、同時に、中東アジアを中心としたオリент・プラネットの顧客企業に対しても、日本国内におけるPR活動を提案してまいります。



また同じく7月に、ロンドンを拠点とする総合PR会社のルイスPRシンガポールAPAC本部とパートナーシップ契約を締結いたしました。当社は、ルイスPRシンガポールよりすでに複数の企業のご紹介を受けており、今後日本国内でのPR活動を提案してまいります。また、国内企業を中心とした当社クライアントに対しても、シンガポールでのPRサービスを共同で提供してまいります。

未来の医療従事者を支援するクラウドファンディングPR

日本が生んだ世界的な細菌学者であり医学者である野口英世博士の功績を称え、次代の“野口英世”の育成を目的として活動する米国財団法人野口医学研究所は、コロナ禍で苦境に立つ医学生や看護学生などの支援を目的としてクラウドファンディング(CF)を立ち上げました。本件は「野口英世マスクケースプロジェクト」として当社が企画・運営ならびにPRを担当いたしました。マスクケースの素材には、抗菌作用が強く、石灰石を原材料としプラスチックの代替素材として世界的にも注目されている次世代型新素材「LIMEX(ライメックス)」を採用することで他のマスクケースと差別化を図っています。当プロジェクトは多くのメディアでの露出を獲得し、想定よりも早く目標金額を達成いたしました。なお、CFの収益金は、未来の医療従事者を対象とするエッセイコンテストの入賞者に、同財団がさらに支援金を加えて授与されます。



劇場版「鬼滅の刃」が歴代興行収入新記録を達成！

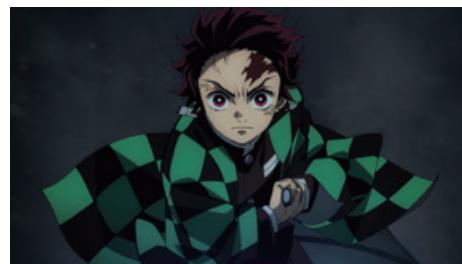
コロナ禍で映画業界も未曾有の打撃を受けている中、起死回生のヒットとなった劇場版「鬼滅の刃」無限列車編のPRを当社子会社の株式会社マンハッタンピープルが担務し、膨大なメディアリレーションのもと、映画界のみならず日本中に明るい話題を提供することができました。

本作の新記録をもって、歴代の興行収入TOP 5中、3作品をマンハッタンピープルの宣伝作品が占めることとなり、同社が2021年度に40周年を迎えるにあたり、新たな弾みを得ることができました。



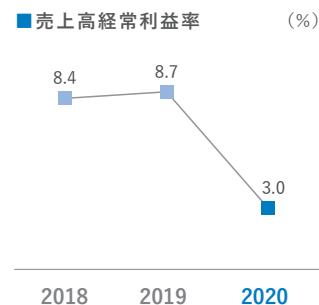
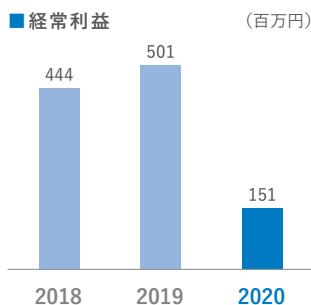
| 歴代興行収入トップ5 | | |
|---|--------------------|-------|
|  | 1位 劇場版「鬼滅の刃」無限列車編 | 2020年 |
| | 2位 「千と千尋の神隠し」 | 2001年 |
|  | 3位 「タイタニック」 | 1997年 |
|  | 4位 「アナと雪の女王」 | 2014年 |
| | 5位 「ハリー・ポッターと賢者の石」 | 2001年 |

(2021年1月現在)

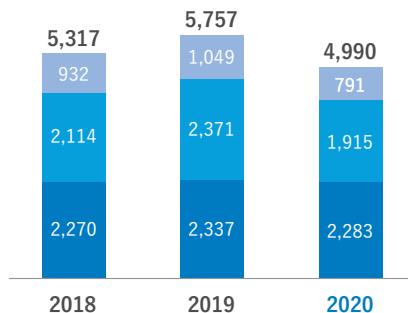


©吾峠呼世晴/集英社・アニプレックス・ufotable

Financial Highlight | 決算ハイライト |



■業務区分別売上高 (単位：百万円) ■リテイナー ■ オプショナル&スポット ■ ペイドパブリシティ



リテイナー …… 企業などの広報活動を6ヶ月以上の契約をもって支援及びコンサルティングしていくものです。PR戦略の策定からパブリシティ(記事化)業務、不祥事発生時の危機管理広報対応支援など幅広いサービスを行っています。

オプショナル …… リテイナー契約顧客に対する一時的な付加サービスを言います。

スポット …… 企業などの6ヶ月未満の広報活動支援を言います。ニュースリリースの作成・配信などのパブリシティ活動から、展示会や美術展等の開催告知目的のPR活動、記者発表会の企画・運営等まで各種のニーズに対応します。

ペイドパブリシティ …… 新聞や雑誌等の特定のページを購入して、顧客の意図する内容を記事形式で掲載していく手法を言います。

Company Profile | 会社情報 |

■取締役及び監査役 (2021年3月30日現在)

| | |
|-------------|-------|
| 取締役会長 | 古賀 尚文 |
| 代表取締役社長 | 谷 鉄也 |
| 取締役 | 沼田 英之 |
| 取締役 | 木村 忠久 |
| 取締役 | 信澤 勝之 |
| 取締役 | 松川 和正 |
| 取締役 | 立花 圭亮 |
| 取締役(非常勤) | 尼崎 勝司 |
| 社外取締役 監査等委員 | 高橋 千秋 |
| 社外取締役 監査等委員 | 安藤 教嗣 |
| 社外取締役 監査等委員 | 鈴木 修 |

※社外取締役である高橋千秋氏、安藤教嗣氏、鈴木修氏は、株式会社東京証券取引所の規定する独立役員であります。

■大株主 (2020年12月31日現在)

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|-----------------|------------|--------|
| 株式会社新東通信 | 1,437,396株 | 36.42% |
| 株式会社テクノグローバル研究所 | 552,800株 | 14.01% |
| 佐藤 友亮 | 120,000株 | 3.04% |
| 共Pグループ従業員持株会 | 103,900株 | 2.63% |
| 山本 文彦 | 82,500株 | 2.09% |
| SMB C日興証券株式会社 | 79,200株 | 2.01% |
| 上村 巍 | 67,200株 | 1.70% |
| 山沢 滋 | 57,800株 | 1.46% |
| 鈴木 泰弘 | 57,300株 | 1.45% |
| 百溪 直司 | 30,200株 | 0.77% |

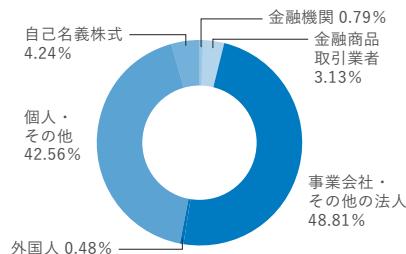
注)持株比率は自己株式(174,711株)を控除して計算しております。
また、自己株式につきましては、上記の表から除外しております。

■株式状況 (2020年12月31日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 15,120,000株 |
| 発行済株式の総数 | 4,121,796株 |
| 株主数 | 2,501名 |

■所有者別株式分布状況

(2020年12月31日現在)



HPのご案内

トップページ <https://www.kyodo-pr.co.jp/>



当社の会社情報や様々なPRの実績をご覧になることができます。

IR案内 <https://www.kyodo-pr.co.jp/investor/>



各種開示資料や冊子ではお伝えしきれなかった財務の情報がまとめられています。

社 名 共同ピーアール株式会社(証券コード:2436)
KYODO PUBLIC RELATIONS CO., LTD.
所在地 〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル
電話:03-3571-5171(代) FAX:03-3571-8171
創 業 1964年(昭和39年)11月14日
資本金 5億1,178万円
社員数 197名(単体)、243名(連結)
(2020年12月31日現在)

